

MORIOKA YMCA NEWS

盛岡YMCAの使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、こども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. こどもたちの個性を大切に、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

9月号 サッカー県大会ベスト16



編集発行 濱塚有史 発行所: 特定非営利活動法人 盛岡YMCA 岩手県盛岡市本町通3-1-1
TEL 019(623)1575 e-mail: morioka@ymcajapan.org URL: <http://www.ymcajapan.org/morioka/>

誉めごと

神永 瞳 (盛岡YMCA総務会員、リーダー役)

「子どもが大きくなるにつれ、誉めれば良いのだろうけど、誉めるところがないのよね」という親御さんの話をよく聞きます。私は、教員になって6年近くになりますが、その間ずっと心がけていることがあります。返事をほめること。いい返事であれ、嫌々した返事であれ。

昨年度まで中学校勤務をしていました。ちょっと突っ張っているような子どもが、うっかり返事をしてしまったときがチャンスです。間髪を入れずに誉める。そうすると可愛らしく苦笑いするのです。

今年度から小学校勤務になり、わかったことがあります。あの中学生が見せる可愛らしい顔は小学生の表情なのだ。うっかり童心に戻るのでしょうか。そのうっかりが、案外素直に人の話をきく心呼び戻してくれているような気がします。子どもは、もしかした

ら我々大人も誉められたいのだと思います。小学校低学年では、返事だけで誉められた。大人も誉めてあげられた。低学年の子の返事は美しすぎる響きを兼ね備えています。

年齢が上がるにつれて、更に上を要求してしまい、基本的なことは誉められてない、出来ないと叱ってしまう。子どもと接する我々大人こそ、基本的なことで必ず誉められる姿勢を持ちたいと思います。そして。そこを誉められる子どもは案外それ以上のこともできるような気がします。

〇〇くんは返事がよくて、誉めると可愛い顔をするんですよとお話すると、「返事だけじゃねえ」と言いつつ親御さんの頬も緩んでる様子を見るのが結構好きです。

盛岡YMC Aベストキッズ セーラーカップベスト16進出！！



8月28日・29日に行われたセーラーカップの予選リーグ。1試合目は、初戦の緊張感から「自分たちのサッカー」を思う存分に発揮することはできませんでした。フリーキックという数少ない大きなチャンスをものにして1対0で勝利することができました。

2試合目までの時間では、勝った喜びから気持ちに甘さが出てしまい、戦う姿勢が足りなくなっていました。結果だけ見ると4対2で勝利はしましたが、YMC Aの大きな目標である「人間で勝つ」「心で勝つ」という点で見ると決していい内容ではありませんでした。試合後のミーティングでは自分たちの気持ちの甘さや弱さを痛感し、涙を流しながら悔しがる姿が見られました。

決勝トーナメントをかけて翌日の3試合目。前日までとは違い、一人ひとりが勝負へ向けて戦う準備が出来ており、会場中に響き渡る子どもたちのアップの声は非常に素晴らしかったです。試合序盤はどちらが主導権を握るか一進一退の攻防となりましたが、先取点を取ってからはYMC Aのペースで試合を進めることができ2対0で勝利し、見事に決勝トーナメント進出を決めました。

予選リーグ最終戦、試合序盤はいい試合をしていましたが、足が止まってしまい失点を重ねてしまいました。結果としては、0対4での敗戦となりました。

9月4日晴天の中、ASPAには子どもたちのアップの元気な声が響き渡っています。決勝トーナメント1回戦、前半はさすがに緊張のため、視野が狭く、走ることも出来ていませんでしたが、徐々に気持ちが落ち着き「自分たちのサッカー」ができるようになってきました。相手の主力選手を抑えることで決定的なチャンスを与えずに、パスをしっかりと回しゴールを目指しますが、40分では得点を決めることができずにPK戦へ。ゴールキーパーの気持ちのこもったプレーと、キッカーがプレッシャーに勝てたことにより決勝トーナメント初戦を勝利することができました。

2回戦では、守備の時間が長くなる中、集中を切らすことなく、一人ひとりが体を張ってボールを奪いに行きました。しかし、後半残り5分を切ったところでゴールを許してしまいました。その後も必死で戦いましたが、惜しくも敗戦。今年のセーラーカップはベスト16という結果で終わりました。

昨年の岩手県少年サッカー新人大会グループリーグ敗退。全日本少年サッカー大会盛岡地区予選敗退。2度の悔しい想いを経験し、子どもたちは一生懸命努力をしてきました。厳しい練習の中でも決して後ろ向きになることなく、自分たちの力を信じ頑張ってきました。リーグ戦では様々なポジションを経験し、6年生は中学生の大会にも出場し、たくさんのことを感じて来ました。

結果を見ればベスト16ではありますが、やっている人が楽しく、見ている人も楽しく、感動する試合を自分たちの力で作り上げていく姿が見られた今大会。また、悔し涙を流す子どもたちを見て、ここまで成長した喜びとともに、今後への期待が溢れて来ました。

「サッカーで負けても人間で勝つ！」「技術で負けても心で勝つ！」「自分たちのサッカーをして思いっきり楽しむ！」

文責：獅童(盛岡YMC Aスタッフ 浅沼 慧)

リーダー紹介 きんたリーダー(江六前千佳さん)&ポン太リーダー(富樫亮太さん)



子どもたちはキンタリーダーに近づいていきます。この優しさは自分には足りないと思うので、キンタリーダーを見習いたいと思っています。キンタリーダーはあと少しで免許が取れるので頑張っています。こんなキンタリーダーとどんどんYMC Aを盛り上げていきたいと思っています。

☆キンタリーダー☆
自分は、キンタリーダーについて紹介したいと思います。キンタリーダーは、現在、盛岡大学の1年生として頑張っています。なぜキンタというリーダー名になったかという急に決まっちゃったみたいなんです。なので、キンタというリーダー名に深い理由はありません。キンタリーダーは、小学校から、バレーボールをやっています。なので、自分はキンタリーダーが運動しているところは見たことがないのですが、運動神経はいいはずだと思います。YMC Aにある活動では、アドベンチャーを主に活動しています。キンタリーダーは盛岡市から遠いところに住んでいるので、YMC Aに来るのも大変そうです。また、キンタリーダーは非常に色が白いです。そして、キンタリーダーは、自分のことより人のことを優先してくれる優しい人です。優しさにあふれている感じが伝わってくるのでアドベンチャーに参加したいです。



☆ポン太リーダー☆

私、キンタからは、ポン太リーダーを紹介します！ポン太リーダーは秋田県出身で、今は岩手県立大学の1年生です！ポン太のリーダー名は、本名に基づいてつけたそうです。(どっかのコンビニにもいますね(笑)) 小学校の5年生から野球をしています。足も速く、背も高く、運動神経は抜群です。現在も大学のソフトボールサークルにも所属し、大好きな野球を続けているそうです。運動神経を生かしたアクティブな遊びが大好きで、子ども達とはよく野球をしたり、走り回ったり、外で体を動かして遊んでいます！そのおかげで、今年の夏も、さらに！まっくろくろすけになっていました(笑)
話を聞いていたんだかいないんだか...という時もしばしば「話聞いている...?」と思われたり、ちよつと抜けてる?と思われることもあるポン太ですが、最後にはおいしい所を全部持ってくる賢いやつでもあります。けど、そんなどこかやわらかい雰囲気はポン太だからこそ、いろんな子ども達とすぐに仲良くなれるんだと思います。いつも彼の周りには、いつの間にか、男の子も女の子もたくさんの子たちでいっぱいなんです。そんなポン太リーダーは、最近「イケメンリーダー」とも言われていて、ベムリーダーやズンリーダーをしのぐ勢いで、ポン太リーダーと共にファンも増えてきています！
ポン太リーダーは、アドベンチャーで活動しています！ぶらいむにもいます！ぜひ、遊びに来て彼に声をかけてみてくださいね！

アドベンチャー8月活動



8月のアドベンチャーでは、子ども19名・リーダー6名・スタッフ1名で矢巾町立公園に行ってきた。

バスの中では、皆で大量の風船をとぼしたりしてゲームを楽しみました。公園の駐車場に着いたころには皆、慣れて笑顔も見られました。

午前中はみんなで川登りをしました。川登りでは魚を見つけたり、水を掛け合ったりしてワイワイしながら登りました。登り終えたときの表情は達成感に満ち溢れていました。

お昼ご飯の時は、皆で話したり、食べ終わった頃にはお菓子交換をしたりとゆったりとした時間を過ごしました。

午後のフリーでは、飛び込みで高得点を狙う子・探検に行く子などみんなが色々な事をして楽しみました。終わった頃にはみんな疲れきっていました。

今回はあまり経験できない事が多くあり、皆疲れきっていましたが、時間を忘れる位1人1人が自然を満喫して多くの笑顔が見られたアドベンチャーでした。また、皆と会って遊べることを楽しみにしています。

盛岡大学 児童教育学科3年三田庸平(えだまめリーダー)

サンデースクール9月活動

今回のサンデースクールは「シャボン玉実験室」と題しているような洗剤や材料を使ってシャボン玉作りに挑戦しました！サンデー当日の9月18日は天気にも恵まれ、子ども16人、リーダー9人に加えてお母さんたちも一緒になって遊びました。大きいシャボン玉、割れないシャボン玉、色付きのシャボン玉、いろんな道具をつかったシャボン玉など、それぞれ夢中になっていろんな材料を使って試してみます。ラケットを使ってシャボン玉を飛ばしてみたり、大きいシャボン玉を作ろうとみんなで一生懸命に頭をひねったり、奇跡的にスライムができてしまったり…こうして数々のシャボン玉実験が行われている横で、シャボン玉よりもトンボ捕りに夢中になっている子ども☆「シャボン玉づくり」とらわれず一人ひとりが楽しんだ、自由なサンデースクールとなりました。

今回はお母さんたちが子どもに負けないくらい元気に遊んでいる様子もあり、子どもとリーダー、お母さんと色々な人がいた分、楽しみもたくさんありました。次回もいろんな人・遊びとの出会いを楽しみにしています♪

岩手県立大学 社会福祉学部4年 佐藤愛美(ビーチ)



第7回盛岡YMCA国際・ミュージック・フェスティバル

今年で7回目を迎える盛岡YMCA国際・ミュージック・フェスティバル。毎年、中心になってこの企画を支えてくれているボランティアのお二人にお話を伺いました。



■ 開催日:
11月21日(日)

■ 開催時間:
13:30~15:30
開場: 13:00

■ 開催場所:
盛岡劇場タウンホール
■ 入場料 大人 700円
子ども 300円

エリザベスさん(ペルー)



チャリティコンサートの準備は時間がかかり結構大変ですけど、それもまた楽しみの一つです。みなさんに私の故郷である南米の踊りや民族衣装、文化を知ってもらいたい。当日は、南米の民族衣装のファッションショーを予定しています。

みんなで楽しく一つになりましょう。

シンティアさん(フィリピン)



なんといっても国際的な雰囲気味わってみたいです。いろいろな国のひとが集まって一つのものを作っていく喜びがあります。みんながこのコンサートに向けて頑張ってくれている、それがとても嬉しいです。いろいろな国の文化を肌で味わってほしいと思います。

みんなで楽しく一つになりましょう。

10月の予定

水泳教室、10月13日～10月26日は、盛岡市の総合プールが水の入れ替えで使用できないため、他のプールで実施します。(別途連絡)

- ★10月3日(日)サンディスクール
「自分ではがきを作ってみよう。」
(於 プラザおでって予定)
- ★10月3日(日)

- 本町サッカー補講(10月9日分)
- ★10月9日(土)
本町サッカー休講
- ★10月9日(土)
ワイズメンズクラブ第一例会
(於 アイーナ団体活動室③)
- ★10月24日(日)アドベンチャー10月活動
「ミステリー・バスツアー」

11月の予定

★11月3日(祝) サンディスクール 昔の遊びを体験しよう。!

- ★11月7日(日)
ミニサッカー大会
- ★11月21日(日)
インターナショナル・ミュージックフェスティバル
- ★11月23日(祝)
街頭募金

感謝

2010年度

順不同・敬称略
●維持会員

- 菊池崇江、熊谷太、鶴丹谷三千代、水田賢次、新里ちえ子、金田一世美子、重石桂司、大関靖二、長谷川精一、北田アユ子、田村治之、伊藤克見、伊藤喜代、濱塚秋二、濱塚れい子、布川雅樹、布川直子、神永瞳、小畑孝子、松尾聡子、及川茂夫、及川恵、川守浩、晴山真理子、工藤直子、竹内一真、清水弘一、吉崎陽、千葉代子、今松桂子、金野東輝子、井上修三、井上優子、井上浩太郎、阿部靖、今野聖子、今野健男、金田節子、中原眞澄、古澤伸、角谷晋次、角谷千代子、佐藤翔、伊藤眞一郎、伊藤みどり

寄付金

- 熊谷太、水田賢次、長谷川精一、伊藤克見、伊藤喜代、江、布川雅樹、布川直子、神永瞳、及川茂夫、及川恵、川守浩、工藤直子、清水弘一、吉崎陽、今松桂子、杉下一郎、井上修三、阿部靖、今野聖子、中原眞澄、角谷晋次、佐藤翔、伊藤眞一郎、伊藤みどり

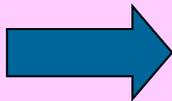
★維持会員★

盛岡YMCAは、1983年から活動を始めて世界を見つめながら盛岡の地域に根ざした活動を多くの方々から支えられながら続けて来ました。維持会員とは、盛岡YMCAの使命に賛同し盛岡YMCAの活動を支えるため、維持会費を払って会員となった

◆盛岡YMCAの維持会員としてYMCAの諸活動をお支え下さい。申し込み方法は、YMCAにお問い合わせ下さい。

新連載 あの頃君は～♪若かった～♪①

ひげ玉子の巻



～小学生の私～

みなさんこんにちは。YMCAのスタッフ伊藤眞太郎(ひげたまご)です。ここでは、私の小学生だった頃のことを紹介したいと思います。

私は1981年4月21日に千葉県松戸市に生まれました。幼稚園からは宇都宮で育ち、小学2年生で東京都大田区に引っ越し、松仙(しょうせん)小学校を卒業しました。小学生の私を一言で言うと「落ち着きのない子」です。じっとしていることができない子でした。家の中でも、授業中에서도、座っていても立っていても…。そんな感じだったので怒られない日は1日もないくらい毎日のように怒られていました。また、ケンカもたくさんしました。友達にケガをさせてしまい、母親と謝りに行ったことも一度や二度ではありません。学校が終わり家に帰るとすぐに遊びに出かけ、宿題などをした覚えがないほどです。

そんな私にとって、小学2年生からずっと長期休みに行っていた新潟県にある「四季の子ども村」はかけがえのない場所でした。5泊6日を全国から集まった小中学生50人程度で過ごし、夏にはキャンプや海水浴、冬には雪遊びやスキーなどを楽しみました。そこには難しいルールや誰かに縛られることなく、自分で考え、自分のやりたいことを思いっきり出来る場所がありました。もちろん食事を作ったり、掃除をしたりとやらなきゃいけないこともたくさんありました。けれど、そのやらなきゃいけないこと一つ一つが納得のできることでした。遊びが中心で過ぎていく5泊6日の中で出会った色々な人や様々な価値観は今の私にとってとても大きな財産になっています。

「遊びは子どものご飯です」私が「四季の子ども村」出会った不思議なおじさんの口癖です。29歳になった私ですが、まだまだ落ち着きがない日々を過ごしています。まだまだ遊び足りないのかもしれない。



長期連載

社会人になった シロクマリーダーの栄養教室⑤

家村知佳

秋ですねえ。皆さんにとっては何の秋ですか??ここではやはり食欲の秋で!!秋は美味しいものがたくさんありますが、私の独断で今回は「サンマ」を取り上げましょう。サンマは漢字で書くと「秋刀魚」。ご存じのとおり、秋の味覚の代表選手です。この時期のサンマは脂が乗りに乗ってますからね♪

その脂ですが、肉の脂といっしょにするのは大間違いです。サンマのような青魚の脂は不飽和脂肪酸が豊富に含まれます。きっと聞いたことがあるはず。ドコサヘキサエン酸(DHA)やエイコサペンタエン酸(EPA)などです。これらは生理活性物質を生合成して血圧の抑制やアレルギー反応および炎症に関与します。また、DHAは脳の機能向上効果が、EPAはコレステロール値の低下や血栓抑制効果が知られています。かつての日本人は魚を多く摂っていたので、肉を主に食べている欧米人に比べて心臓血管疾患や脳血管疾患が少なかったのです。しかし、現在は食の欧米化が進み、これらの疾患が増加しています。

秋は食べ物が美味しいからって食べ過ぎは禁物ですよ! ……と自分に言い聞かせているシロクマがお送りしました。



～表紙の写真から～



本気でサッカーと向き合い、苦しみ悩みぬいて自分たちのサッカーを見つけた子どもたち

は、一人ひとりが大きく、たくましく、そして頼もしくなっています。そんな子どもたちがみせたこの笑顔は一人ひとりの努力が報われ、仲間としてサッカーを楽しんだことの表れです。

これからも僕らがリーダーとして伝えていくべきことをこの笑顔から再確認しました。さあ春が楽しみだ!!

文責：獅童(盛岡YMCAスタッフ 浅沼 慧)